

2-4. 普天間飛行場跡地周辺の市民への取組み

取組み方針①：市内各種団体と意見交換を行い、継続したまちづくりの議論に繋げていき、今後のまちづくりのけん引役となる人材の掘り起こしを行う。

取組み方針②：児童・生徒向けに制作したプロモーションビデオ（PV）をきっかけとした、普天間飛行場跡地のまちづくりに対し興味・関心を持つようなプログラムを実施する。

取組み方針③：跡地利用に関する、低学年にもわかりやすい内容のプロモーションビデオを制作する。

（1）市内各種団体に対する跡地利用計画検討に関する情報発信及び広報

1）開催概要

普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けて、市内各種団体との様々な周知や意見交換の場をとおり、若い世代等の人材探し、人材育成を進めながら、市民等組織の強化・活動の活性化を図ることを目的として、市内各種団体を対象とした懇談会を開催した。

なお今年度は計3回開催し、第1回は4団体、第2回以降は個別で商工会青年部、第3回は商工会議所との意見交換を行うとともに、フィードバックとして商工会会長、商工会青年部代表との意見交換を行った。

2）開催スケジュール

	月 日	時 間	場 所
第1回	9月13日(金)	19:00～20:00	宜野湾市役所別館3階 第一会議室
第2回	10月22日(火)	19:30～21:00	宜野湾市商工会 1階会議室
第3回	3月12日(水)	19:00～19:50	宜野湾青年会議所

3) 実施概要及び議事要旨

○実施概要

【第1回】

- ① 日 時 : 令和6年9月13日(金) 19時00分～20時00分
- ② 会 場 : 宜野湾市役所別館3階 第一会議室
- ③ 出席者 : 宜野湾市商工会:長堂昌太郎(会長)
宜野湾市老人クラブ連合会:宮本信弘(会長)
宜野湾市女性連合会:宮園峰子(会長)
宜野湾市女性団体連絡協議会:與儀美奈子(事務局)
※宜野湾市自治会長会、宜野湾市PTA連合会、宜野湾市青年会連合会は欠席

《事務局》

津波古 良幸 宜野湾市基地政策部 次長兼まち未来課長
永山 拓朗 宜野湾市基地政策部まち未来課 係長
仲本 彩乃 宜野湾市基地政策部まち未来課 主任主事
石井、崎山(昭和株式会社)

- ④ 議 題 : 1. 今年度の意見交換テーマ
2. 次回以降の個別意見交換会に向けて(対象団体の選定)
- ⑤ 配布資料 : ・次第
・資料①: 令和6年度 第1回普天間飛行場跡地利用に係る市内各種団体懇談会資料



写真: 懇談会の様子①



写真: 懇談会の様子②

○意見概要

(今年度の意見交換テーマについて)

【長堂 昌太郎 様】 宜野湾市商工会 会長

・ GW2050 PROJECTS 推進協議会構成メンバーに宜野湾市も含まれているが、現状として宜野湾市は積極的に関わっていない状況と考えている。今回の各種団体懇談会は、どういう位置づけになるのかについても話し合われていない。本会で話し合った内容がGW2050 PROJECTS 推進協議会に活かされるように提言するのか、それとは別に各市の役割分担等を基に話し合ったほうがよいのか、どちらなのか。本会での話し合いが将来的に足かせになると困るので、市の考え方を示していただきたい。

⇒GW2050 PROJECTS 推進協議会は民間主導で発足した組織であり、その活動に那覇市、浦添市、宜野湾市が参画し、令和6～7年にかけて西海岸地域のグランドデザインについて検討する内容となっている。本市としては、本会の意見を普天間飛行場跡地利用計画に反映し、その成果をGW2050 PROJECTS 推進協議会と結びつけていきたいと考えている。(事務局)

- ・ 商工会としては、普天間飛行場跡地利用のまちづくりについて宜野湾市だけで考えるのではなく、周辺市町村と連携することで広がりのあるものにしていただきたいと考えている。そのため、本日挙げられているテーマでは不十分であるため、鉄軌道が今後どうなるか等、他のテーマも追加させていただきたい。
- ・ 住宅街が整備され人口が増えても、税収がなければ上下水道等のインフラの維持整備ができないため、経済は切り離せない。
- ・ 経済中心のまちと、住みよいまちを特区の設定で分ける方法もある。片方だけでは成り立たないことを理解していただきたい。GW2050 PROJECTS 推進協議会が経済も含めて検討するのであれば、それと連動して宜野湾市が発展する方法を考えていただければよい。

【宮本 信弘 様】 宜野湾市老人クラブ連合会 会長

- ・ GW2050 PROJECTS 推進協議会におけるグランドデザインは、西海岸開発を主体としているため、我々のテーマとどう紐づけるのか難しい面があり、無理に連動させてよいものなのか考える必要がある。現時点においては、中間取りまとめとして普天間飛行場跡地の大きなまちづくりの構想が示されていることから、市民の立場として、今は本会で議論を継続しながら、GW2050 PROJECTS推進協議会との関係を別途探る形で進めることが望ましい。
- ・ マンションやビル等が多く建ち並ぶまちでなくてもよい。歴史資源の活用法や地下空間、水脈等、様々な可能性があるが、住みやすくゆとりある生活空間を目指すことが大切である。現行の計画内容について、時間をかけて具体化していくことが望ましいと考える。
- ・ 県内の既返還跡地は公共施設づくりがメインとなっており、将来的にはまちの魅力が薄れていくのではないかと。宜野湾市においては、西海岸開発とは異なる視点で住みよいまちづくりを目指したほうがよい。
- ・ モノレールが延長できるなら実現してほしいが、鉄軌道の方がより望ましい。将来の観光振興のためにも必要と考える。

- ・ 住みよいまちとは、住宅や商業施設、緑等の様々なバランスが取れているまちを意図して発言しており、経済を無視しているわけではない。

【宮園 峰子 様】 宜野湾市女性連合会 会長

- ・ 安全、安心なまちづくりというテーマはすばらしいと考える。
- ・ 今年沖縄で地震が発生した後、大謝名区を含む各地域でどのような対応が取られたか、話を聞く機会があった。安全で安心できる日常生活や、緑の重要性を改めて感じた。
- ・ 普天満宮の門前町のまちづくり構想について、最初は理解が難しかったものの、少しずつ風景の変化を見るうちに理解できるようになった。普天間飛行場跡地も、同じように時間とともに変わっていくものであると今では感じている。
- ・ 宜野湾には羽衣音頭、宜野湾音頭、宜野湾小唄、豊年音頭等があり、市内各所の風景や伝説等が歌詞に込められている。そのような、歌詞にあるものを残しながら歴史ある宜野湾、誇りあるまち、安全、安心なまち、女性にも優しいまち、にぎやかなまちができればよいと考えている。
- ・ 女性連合会としては、今年の意見交換のテーマは「安全、安心なまちづくりの実現に向けて」がよい。

【與儀 美奈子 様】 宜野湾市女性団体連絡協議会 事務局

- ・ 以前、視察でマレーシアとシンガポールを訪れ、M I C Eについて勉強したことがある。普天間飛行場跡地は面積も広いので、M I C Eが普天間飛行場跡地にできればよいと思った。M I C Eに特化してもよいのではないか。
- ・ 交通インフラとして、トラムがあると便利でよい。
- ・ 経済も重視する必要がある。安全、安心なまちが実現したら人々は自然に集まるのではないか。

【事務局】

- ・ 経済をテーマにすべきであるという声がある一方で、歴史や風景といった資源を活かすべきという意見や、安全、安心なまちづくりをテーマにすべきという意見もあった。本会は市内の様々な団体と意見交換を行い、幅広い世代の人材育成及び発掘の場をつくることを趣旨としているため、意見を出しやすいテーマの設定が求められている。また、GW2050 PROJECTS 推進協議会とは異なる視点で議論を行う場と捉えており、本会では経済に特化しすぎないテーマがよりよいと考えるが、いかがか。
- ⇒ 経済に関連する議論は投資の話題が含まれるため、行政が入ることは好ましくない。そうになると経済の観点で行政が関わる部分は限定的であることから、安全、安心なまちづくりをテーマにしてはどうか。西海岸地域は海拔が低いので津波のリスクがある。普天間飛行場跡地の高台をどのように活用し、まちづくりを進めていくかという議論は、行政及び我々が意見を交わしやすいテーマではないか。（長堂会長）
- ⇒ 発言いただいたとおり、皆様の関心の高いテーマであると思う。（事務局）
- ⇒ 本地区の主要交通手段は何になるのか。先程意見のあったトラムはよい案と思うので、テーマとして検討してもよいのではないか。鉄軌道より実現性があると思う。（宮本会長）

- ⇒トラムは移動手段であり、安全、安心に繋がると考える。それを考慮し、安全、安心なまちづくりのテーマとして取り入れてはどうか。(長堂会長)
- ⇒将来的な鉄軌道の構想はあるが、地域間を連携する交通手段としてトラムやLRTは有力な候補である。それにより公共交通の定時性や安定性を高めることができ、結果として安全、安心の旅に寄与すると考えられる。したがって、安全、安心なまちづくりのための方法として、公共交通の在り方について検討することは意義があると考え。(事務局)
- ⇒西海岸のコンベンションセンター周辺に駅を設け、そこから軌道交通で普天間飛行場跡地に輸送する等、夢を語らせていただきたい。話題の選択肢が多い懇談会になると面白い。(長堂会長)
- ⇒市民の皆様が参加しやすい場にしたいと考えている。したがって、意見交換しやすいテーマ設定が重要と考える。(事務局)
- ⇒未来を語る場なので、商工会青年部に参加させてはどうか。(長堂会長)
- ⇒ぜひお願いしたい。(事務局)
- ⇒本日はいただいた意見を踏まえ、安全、安心なまちづくりをテーマとして個別意見交換会を実施したい。防災面だけではなく、他の観点でも意見をいただくような形で進めていきたい。(事務局)

(次回以降の個別意見交換会に向けて(対象団体の選定))

【長堂 昌太郎 様】 宜野湾市商工会 会長

- ・ 個別の意見交換は、どの程度の規模で考えているか。
⇒昨年度は10名程度で開催した。人数が増加する場合は、グループ分けも可能である。(事務局)
- ・ 商工会には様々な業種や地域別組織も存在しているため、テーマや目的に応じて特定の対象に呼びかけることも可能である。一方で、全体に呼びかけると参加人数の予測が困難となる。
- ・ 商工会青年部への呼びかけはスムーズに行える。
- ・ 商工会事務局から青年部に情報を伝えておく。青年部から回答があり次第、連絡する。
- ・ 商工会には8つの部会があり、それに加え青年部や女性部、業種別部会がある。設定したテーマと関係の深い部会に声をかけることも可能である。
- ・ 青年会議所から話を伺ってみてはどうか。まちづくりの勉強等、色々行っている。

【宮本 信弘 様】 宜野湾市老人クラブ連合会 会長

- ・ 個別意見交換の時間はどの程度を考えているか。
⇒最大120分を想定しているが、できれば90分以内に完了させたいと考えている。(事務局)
- ・ 毎月1回、各字を代表する評議員会があり約30名の参加者が集まる。評議員会の後に1時間程度の意見交換は可能かもしれない。
⇒必要であれば時間を60分に短縮可能で、説明を簡潔にする等の工夫はできる。(事務局)

【宮園 峰子 様】 宜野湾市女性連合会 会長

- ・ 2年に1回のイベントが来年1月にあるため、今年度は多忙のため対応困難である。

【與儀 美奈子 様】 宜野湾市女性団体連絡協議会 事務局

- ・ 20日までに回答する。

【事務局より総括】

- ・ 「安全、安心なまちづくりの実現に向けて」をテーマにしつつ、多様な視点で意見をいただければと考える。
- ・ 次回は個別団体との意見交換のため、個別でのやり取りとなる。
- ・ 年度末には、今年度の意見交換成果を皆様に書面で送付する。

【第2回】

① 日 時 : 令和6年10月22日(火) 19時30分～21時00分

② 会 場 : 宜野湾市商工会 1階会議室

③ 出席者 : 宜野湾市商工会青年部 14名
北谷町商工会青年部(オブザーバー):2名

《事務局》

津波古 良幸 宜野湾市基地政策部 次長兼まち未来課長
仲本 彩乃 宜野湾市基地政策部まち未来課 主任主事
石井、新藤(昭和株式会社)

④ 議 題 : 1. 資料説明
2. 質疑応答
3. テーブル毎の意見交換

⑤ 配布資料 : ・次第
・資料①: 令和6年度 第2回普天間飛行場跡地利用に係る市内各種団体懇談会資料



写真: 意見交換の様子①

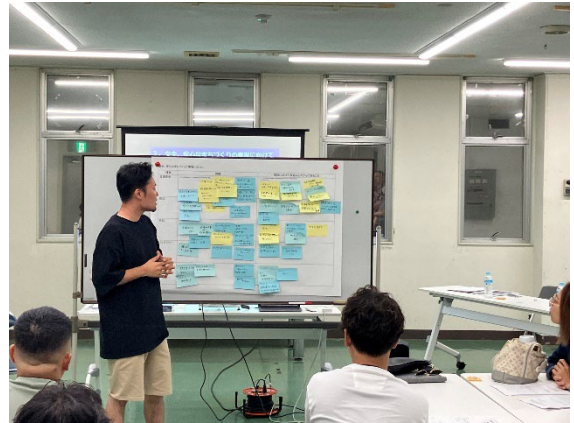


写真: 意見交換の様子②

○意見概要

(質疑応答)

質問：普天間飛行場の計画人口はどのくらいですか。

回答：想定計画人口は約2万人を見込んでいる。

質問：まちづくりは具体的に何年ぐらいかかりますか。

回答：宜野湾市の近年のまちづくりとしては、約36haの宇地泊第二地区が約30年、約50haの西普天間住宅地区は15年ほどの事業期間と見込んでいる。まちの状況によって期間は変わる。普天間飛行場は約476haと広大なため、西普天間住宅地区をベースに考えても50年単位での段階的なまちづくりを想定しているが、普天間飛行場は市の中心に位置するため、周辺の市街地からの接続道路整備を先行的に進めていく必要があり、市道宜野湾11号線のように10年単位の期間がかかることが想定される。これまで、普天間飛行場の返還条件が整わずに約30年経過したが、今年1月に代替施設の工事着工となり、今後はより計画的な進行が期待できると考える。

質問：出された意見は今後どのようになるのですか。

回答：商工会のご意見として取りまとめ、商工会長（市民代表）が推進会議で報告することを想定している。また、いただいた意見の要旨は業務報告書に掲載し、市ホームページにも載せる予定だが、これについても調整を重ねて進めていきたいと考えている。

質問：本日の意見はどのように取りまとめられるのですか。

回答：商工会会長や青年部長の確認を受けながら、取りまとめ案や要旨を作成していくことを想定している。

質問：普天間飛行場跡地利用計画は大規模公園がメインであるが、カジノは作らないのですか。開発して進めることは難しいのですか。

回答：カジノを含め具体的な開発については未定である。ゾーンのイメージは、配布資料を参照いただきたい。

質問：観光に関する機能は、産業振興ゾーンでまかなう予定ですか。

回答：観光の種類（歴史的資源、テーマパーク、サイエンスパーク等）によって、対応するゾーンは様々だが、基本的には拠点ゾーンと都市拠点ゾーンを想定している。

質問：税金が宜野湾市に入る仕組みを作る必要性について、意見を述べた人は過去にいましたか。

回答：企業誘致による、税収増等に関する一般的な意見はこれまでもあった。

質問：3種類の拠点ゾーンごとにそれぞれの検討チームが必要ではありませんか。

回答：第2回中間取りまとめの策定時には、専門部会ごとに検討を進めてきた経緯がある。

(いただいた主なご意見)

■交通安全に関する意見

課題として「歩道の狭さ、路上駐車、渋滞の多さ、電柱があることによって歩行が困難、右折帯がないことによる視認性の悪さ」など、道路に関する課題が挙げられた。

解決策には「歩車道分離、道路幾何構造の工夫（歩道幅員の大小組み合わせによる、車両速度の抑制）、電線類地中化、大規模駐車場の整備」が挙げられた。

今からできることとして「交通安全指導員の配置」が挙げられた。

■防災に関する意見

「警報時に避難所へ車で移動することで渋滞が発生する」といった避難行動による課題や、「防災無線が聞きにくい」という機器面の課題が指摘された。また、「避難場所が分からない」という情報共有不足も問題となっていた。解決策としては、「家庭での防災マニュアルの作成や、自治会ごとの避難ルートマップの作成」が挙げられたほか、「防災グッズの配布、海岸沿いのマンションを避難所として指定」などの提案があった。

■防犯対策に関する意見

「夜間照明や防犯カメラの不足、目が届きにくい公園」などのインフラ面の課題や、「路上での飲酒、深夜の徘徊」といった市民の行動が問題に挙げられた。解決策には「街灯や交番の増設、パトカーの巡回数増加」が挙がり、「死角を減らすためにごみ拾い等の清掃活動や、青年部が作成した安心マップアプリの活用」が考えられる。

■バリアフリーに関する意見

「道路（歩道）の凹凸、公衆トイレの不衛生さ」といった公共施設の維持管理が課題として指摘を受け、「道路の平坦化と幅の拡充、ジェンダーレストイレの設置」といったインフラ整備の意見が出され、また、バリアフリー改修への補助金制度創設が求められた。

■その他

「街路樹の管理や老朽化建築物の問題」、また「観光客の少なさや宜野湾の象徴となる場所がない」といった意見があった。解決策として、「市民がボランティアで街路樹を剪定できる仕組みをつくる」という意見が挙げられた。また、経済的な観点から「特区を設置することや、カジノの誘致、F1 グランプリの開催提案」などの意見が挙げられた。

【第3回】

- ① 日 時 : 令和7年3月12日(水) 19時00分～19時50分
- ② 会 場 : 宜野湾青年会議所
- ③ 出席者 : 宜野湾青年会議所 11名

《事務局》

永山 拓朗 宜野湾市基地政策部まち未来課 係長
仲本 彩乃 宜野湾市基地政策部まち未来課 主任主事
石井、崎山(昭和株式会社)

- ④ 議 題 : 1. 資料説明
2. 質疑応答
3. テーブル毎の意見交換
- ⑤ 配布資料 : ・次第
・資料①: 令和6年度 第3回普天間飛行場跡地利用に係る市内各種団体懇談会資料



写真: 意見交換の様子①



写真: 意見交換の様子②

○意見概要

(質疑応答)

質問：普天間飛行場跡地は、全て宜野湾市の管轄になるのですか。

回答：宜野湾市内に位置しているため宜野湾市で対応することになるが、面積が広いため計画づくりは沖縄県と宜野湾市が共同で検討を進めている。

質問：普天間飛行場跡地利用配置方針図にある3種類のゾーンは確定ですか。

回答：まだ構想段階のため、今後のやり取りで多少の変更も考えられる。

質問：普天間飛行場跡地はどのように開発していくのですか。例えば居住ゾーンから優先的に開発する等、開発の優先順位があるのですか。

回答：現時点では決まっていない。ただし、水が流れる下流から整備を開始する、広い道路から整備を始める等の基本的な考え方はある。

質問：普天間飛行場跡地利用配置方針図のゾーン配置の根拠についてご教示ください。

回答：居住ゾーンは、既存住宅地を含む形で計画している。また、都市拠点ゾーンは、中央部に位置し、将来的に鉄道路線の駅が建設され、駅を中心としたまちづくりがされる見込みであるため、この範囲内にゾーンを設定している。

質問：普天間飛行場跡地利用配置方針図について、地権者からの合意は得られていますか。

回答：約5,000名の地権者がいるため、個々の意向は把握しきれていないが、地主会をつうじて議論を進めている。

質問：市が地権者から土地を購入することになりますか。

回答：土地活用は主に土地の売却、自身での利用、土地の貸し出しの3種類がある。土地を売却したい地権者には、市による土地先行取得事業を活用する。それ以外の地権者に対しては、土地区画整理事業で土地を整形し再配置する。

質問：土地を再配置するエリアは居住ゾーンですか。中央部の都市拠点ゾーンは商業用として計画されていますが、そこに住宅を建てることは可能ですか。

回答：将来的に居住希望の方は居住ゾーンに移り、マンション経営や駅周辺を希望の方は都市拠点ゾーンでの可能性があるが、基本的に従前の土地近辺での再配置を予定している。

質問：用地取得の予算はどこが負担するのですか。

回答：用地取得費用は国の補助金を活用し、県と市の双方が負担する。市が購入する際には市の予算が使われ、県が購入する際には県の予算が使用される。取得価格は不動産鑑定によって決定されることとなる。

質問：普天間飛行場跡地利用計画による経済効果の規模について教えてください。

回答：沖縄県による過去の試算結果によれば、この計画によって 30 倍～32 倍程度の経済効果があると予測されている。

質問：渋滞や交通の問題への不安について伺います。那覇新都心の渋滞懸念は未だに続いているようですが、今から想定される懸念材料等がありますか。

回答：交通量の増加は居住者や地域企業の影響を受けるため、今後の予測を行いながら整備計画を策定していく。

(いただいた主なご意見)

■交通安全に関する意見

「車道と歩道が区別されていないことやガードレールの不足、歩道の狭さ、渋滞、雨天時の冠水問題、交通弱者が懸念される」との意見があり、「ガードレールの設置、自動運転技術の導入、渋滞緩和のための鉄道整備、サイクリングロードやライドシェアの導入」、さらに「朝夕の交通支援活動」というソフト施策も挙げられた。

■防災に関する意見

「市道 11 号線の冠水、路上駐車、避難場所の不均衡」が指摘され、「災害時には地域コミュニティが縮小しており、社会福祉協議会との協定が十分活用されていない」といった課題も挙げられた。対策として、「モノレールの延伸、駐車場の増設、ヘリポートの設置」、さらに「街灯の増設、防災訓練・避難経路の徹底、地図の活用と避難時の電光掲示板設置」が挙げられた。

■防犯対策に関する意見

「外国人居住者による治安問題や交番の不足、街灯の不足、非常時の駆け込み先が不明（例：太陽の家）」が挙げられた。

解決策としては「エリアをゾーンで区分することの必要性和ゾーンング重視」といったゾーンングに関する考えや、「監視カメラの増設、あいさつをする、路上飲酒者への対応策」などのソフト施策も挙げられた。

■バリアフリーに関する意見

「歩道と車道の段差、坂道、古い公共施設の存在」というハード面の課題が挙げられており、解決策としては「介護支援タクシーの拡充、到着時間を音声で知らせるバス停の設置」や、「公共施設改修及び道路整備計画」という意見が挙げられた。

■その他

「市内に公園が少ないことや救急病院が存在しないこと、また引きこもり等や支援を必要とする家庭に対する自治体のサポートが十分でないこと」などが課題として挙げられた。これに対する解決策として、「学校と自治体が協力体制を築くことや、普天間飛行場跡地に中部地域を統括する役所を設置すること」が提案された。

【商工会及び商工会青年部へのフィードバック】

① 日 時 : 令和7年1月29日(水) 10時00分～11時00分

② 会 場 : 宜野湾市役所別館3階 都市計画課会議室

③ 出席者 : 長堂 昌太郎 宜野湾市商工会会長
新垣 雄一 宜野湾市商工会青年部部長

《事務局》

永山 拓朗 宜野湾市基地政策部まち未来課 係長
仲本 彩乃 宜野湾市基地政策部まち未来課 主任主事
石井(昭和株式会社)

④ 議 題 : 1. 資料説明
2. 意見交換

⑤ 配布資料 : ・次第
・令和6年度 第2回普天間飛行場跡地利用に係る市内各種団体懇談会議事
要旨
・令和5年度 市内各種団体等との意見交換会資料より(次年度の取組み予
定)
・令和4年度 普天間飛行場跡地利用計画策定調査業務委託報告書より(推
進会議の議事録)

○意見概要

(いただいたご意見)

【長堂 昌太郎 様】 宜野湾市商工会 会長

- ・現在の普天間飛行場跡地利用計画は、理想が先行しているように感じる。人口減少が進行する中で、これまでの郊外型まちづくりからコンパクトシティ化に流れが変わってきている。そのなかで新しいまちをつくることはよいが、それまでのまちのインフラをどう維持していくのかが考えられていない。
- ・街路樹の維持を市民ボランティアが行う案は、現実的な視点から考えると、ボランティアや自治会だけでは維持が難しくなる可能性がある。この案には実現性に欠ける面があるため、行政の財源確保力がより重要となる。都市経営の視点を若い世代にも持っていただきたい。
- ・宜野湾市の将来を考慮する際には、経済的観点が欠かせない。
- ・住環境を整備しても人が訪れなければ意味がないため、誘致する企業や税収増を目指す取り組みが必要である。
- ・例えば、「宜野湾を県都にする」という明確なビジョンがあり、その実現に向けて今後の普天間飛行場跡地利用計画を皆で協議するのであれば納得できる。このように、端的な目標設定が必要なのではないか。

【新垣 雄一 様】 宜野湾市商工会青年部 部長

- ・宜野湾市にお金を落とす仕組みづくりが重要である。物理的な施設を数多く建設して失敗している自治体の事例が多い中、宜野湾市として同じ過ちを避けたいと考えている。そのためにも、「どの目的で何の作業を行い、何を建設するのか」十分に考える必要がある。文化は下から上へと徐々に深まり広がるものであるため、基盤となる文化が形成されていないうちに施設を整備しても利活用が難しい。
- ・青年部との意見交換会終了後、参加メンバーからは、「普天間飛行場跡地利用計画の内容を周知する場は必要であると一定の理解はあるが、続けることに意味があるのか疑問である」という意見があった。明確な目標がない中で進めても意味がなく、ゴールを設定することが必要である。
- ・後は、長堂会長と同意見である。

(今後の継続した意見交換について)

- ・商工会は令和8年に商工会議所となる。それに従い、来年は新体制となるため、次年度に改めてご相談いただきたい。継続の意思があることは伝えておく。
- ・今以上にメンバーへ気を配り、意識改革を進めていくほうがよい。

4) 取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

●個別団体との意見交換による、市民目線でのまちづくりの課題の明確化

- ・商工会青年部、青年会議所の2団体と個別の意見交換を行い、各団体に対して普天間飛行場跡地利用計画の内容周知を図るとともに、安全、安心なまちづくりに対する各団体の考える課題が明確になった。

【今後の課題】

●新たな若い世代の人材掘り起しと抜擢の仕組みづくり

- ・これまでに個別団体との意見交換を実施した団体に対し、返還後のまちづくりの担い手となる若い世代の人材掘り起しと抜擢の仕組みづくりについて、検討を進める必要がある。

(2) 市内小学校において児童へ向けた出前講座の企画・開催

1) 目的

普天間飛行場跡地利用について、これまでの取組み内容を紹介するとともに、児童に返還後のまちづくりについて考えてもらう機会を促すことを目的として出前講座を企画・開催した。

2) 講座の主なポイント

- ①プロモーションビデオを鑑賞することで、普天間飛行場跡地利用計画に対する理解を深める。
- ②普天間飛行場跡地に必要な機能についてグループで話し合い、普天間飛行場跡地に新しくできる「みらいのまち」をイメージしてもらうことで、普天間飛行場跡地利用計画の周知を図るとともに、普天間飛行場跡地のまちづくりへの興味を促す。

3) 開催場所・スケジュール

	年 月 日	時 間	開催場所	学年	人数 (名)
第1回	令和6年8月2日(金)	13:30～ 16:00	新城児童 センター	4～6	4
第2回	令和6年8月14日(水)	13:30～ 15:30	大山児童 センター	1～6	12
第3回	令和7年1月17日(金)	8:35～ 12:05	志真志小学校	6	111
第4回	令和7年2月6日(木)	13:10～ 14:50	大山小学校	4	90

4) 出前講座開催

①新城児童センター

【実施概要】

夏休みの自由研究のテーマとして「普天間飛行場跡地の未来のまちとSDGs」を取り上げ、小学生を対象としたまちづくりワークショップを開催した。

(参加対象は市内在住の小学生で、小学校1年生から3年生までは保護者の同伴が必須)

ワークショップでは、学校へ提出するため各自が1作品ずつ「みらいのまち」を作成した。参加者は、普天間飛行場跡地利用計画のプロモーションビデオを鑑賞後、普天間飛行場跡地にできるまちのテーマを決定し、まちに必要と考えられるイラストを白図(A3サイズ)に貼り、思い思いの「みらいのまち」を作成した。

日 時	令和6年8月2日(金) 13:30~16:00
参 加 者	4名
周知方法	新城児童センターと普天間第二小学校へチラシ配布 (小学校はPDFデータ)

①-1.プログラム(150分)

時 間	内 容
13:30	まちづくりワークショップ開始
13:35	プロモーションビデオ鑑賞(普天間飛行場跡地利用計画)
13:50	みらいの宜野湾市の作成 ①まちのテーマを考えよう ②地図にイラストを貼ろう ③まちの工夫したところを付箋に書いて貼ろう
15:35	ワークショップ終了
15:45	感想発表、アンケート記入
16:00	まちづくりワークショップ終了

①-2. 申込み案内チラシ

普天間飛行場がまちになったら？ 夏休み

まちづくりワークショップ

参加無料 

普天間飛行場がなくなったあとにできるまちは、どんなまちになってほしい？
未来の宜野湾市について一緒に考えて、夏休みの自由研究を終わらせよう♪

親子・兄妹
の参加大歓迎！



2024 8月2日(金) 13:00～15:30 (受付12:30～)

【対象】市内在住の小学生～中学生 (ただし、小学1年生～3年生は親子同伴)

【場所】新城児童センター TEL:098-892-8888

【定員】15名 (先着順、保護者は定員に含まれません)
★申込締切:2024年7月26日(金)

【主催】宜野湾市 まち未来課

【問合せ先】昭和株式会社 浦添市安波茶1-6-1
TEL:098-876-5107 担当:崎山、池村





木がたくさんある歩いて楽しい道があると涼しいな。



未来の乗り物が走るまちになるといいな。



作品イメージ



SDGs

自由研究をおわらせちゃおう♪
お土産もあるよ★
イラストを貼ってまちをつくるよ♪



キリトリ



【まちづくりワークショップ(普天間飛行場跡地のまちづくり) 申込用紙】

【保護者 氏名】:()

【児童・生徒名】:() 【保護者参加】 有 ・ 無

【小・中学校名】:() 小・中学校 (学年)

【連絡先(TEL)】:() 講座の2日前に再度ご案内致します。

★申込方法:この用紙を児童センターへ提出、又はQRコードから可能です

★水筒持参で来館をお願いします。



申込みQRコード

(注) お子様の写っている写真を使用させていただく可能性があります。個人情報保護の動向を鑑みいただける方のみご参加ください。

①-3. 作業の様子



【みらいのまち（一部抜粋）】

【テーマ】 緑が多く、自然を感じる公園があるまち（小4）

テーマの理由： 自然が増えてきれいな空気も増えると体にいいし、色々な昆虫も増えると思う。また、公園があるとたくさんの人と交流を持つことができるから。

【作成したまち】



【感想】

SDGsや普天間飛行場がなくなったあとのまちを考えたら面白くて、想像力や考え力が上がってうれしいと思いました。緑が多いまちになるとみんな元気になると思います。僕の考えたまちになるようにがんばってみたいです。

【テーマ】 自然を増やして、みんなが安心して過ごせるまち（小6）

テーマの理由： ヘリコプターの窓枠が落下する等、私たちの生活が基地や飛行場関連の問題で脅かされてきました。普天間飛行場が返還されたら、自然を増やして、今までよりも安全に遊びたいです。

【作成したまち】



【感想】

まちをつくる時には、自分の好きな施設を好きな場所につくるのではなく、「ここにこんな施設をつくったら、周りにはこんな施設をつくらないといけない」と考えたほうがよいことがわかりました。このワークショップをとおしてまちづくりに興味がわきました。

②大山児童センター

【実施概要】

夏休みの自由研究のテーマとして「普天間飛行場跡地の未来のまちとSDGs」を取り上げ、小学生を対象としたまちづくりワークショップを開催した。

(参加対象は市内在住の小学生で、小学校1年生から3年生までは保護者の同伴が必須)

ワークショップでは、学校へ提出するため各自が1作品ずつ「みらいのまち」を作成した。参加者は、普天間飛行場跡地利用計画のプロモーションビデオを鑑賞後、普天間飛行場跡地にできるまちのテーマを決定し、まちに必要と考えられるイラストを白図(A3サイズ)に貼り、思い思いの「みらいのまち」を作成した。

日 時	令和6年8月14日(水) 13:00~15:30
参 加 者	12名
周知方法	大山児童センターと大山小学校、はごろも小学校へチラシ配布 (小学校はPDFデータ)

②-1. プログラム (150分)

時 間	内 容
13:00	まちづくりワークショップ開始
13:05	プロモーションビデオ鑑賞(普天間飛行場跡地利用計画)
13:15	みらいの宜野湾市の作成 ①まちのテーマを考えよう ②地図にイラストを貼ろう ③まちの工夫したところを付箋に書いて貼ろう
15:20	ワークショップ終了
15:25	感想発表、アンケート記入
15:30	まちづくりワークショップ終了

②-2. 申込み案内チラシ

普天間飛行場がまちになったら？ 夏休み

まちづくりワークショップ

参加無料 

普天間飛行場がなくなったあとにできるまちは、どんなまちになってほしい？
未来の宜野湾市について一緒に考えて、夏休みの自由研究を終わらせよう♪

親子・兄妹
の参加大歓迎！



2024

8月14日(水) 13:00～15:30 (受付12:30～)

【対象】市内在住の小学生～中学生 (ただし、小学1年生～3年生は親子同伴)

【場所】大山児童センター TEL:098-890-0015

【定員】15名 (先着順、保護者は定員に含まれません)
★申込締切:2024年8月7日(水)

【主催】宜野湾市 まち未来課

【問合せ先】昭和株式会社 浦添市安波茶1-6-1
TEL:098-876-5107 担当:崎山、池村





木がたくさんある歩いて楽しい道があると涼しいな。

未来の乗り物が走るまちになるといいな。

作品イメージ



SDGs

自由研究をおわらせちゃおう♪
お土産もあるよ☆
イラストを貼ってまちをつくるよ♪

【まちづくりワークショップ(普天間飛行場跡地のまちづくり) 申込用紙】

【保護者 氏名】:()

【児童・生徒名】:() 【保護者参加】 有 ・ 無

【小・中学校名】:() 小・中学校 (学年)

【連絡先(TEL)】:() 講座の2日前に再度ご案内致します。



申込みQRコード

★申込方法:この用紙を児童センターへ提出、又はQRコードから可能です

★水筒持参で来館をお願いします。

(注) お子様の写っている写真を使用させていただく可能性があります。個人情報保護の趣旨を鑑みいただける方のみご参加ください。

②-3. 作業の様子



【みらいのまち（一部抜粋）】

【テーマ】 緑が多くて過ごしやすいまち（小4）

テーマの理由：自然を感じることができて、影があると涼しくなるからです。

【作成したまち】



【感想】

「どこに何があるといいのか」考えることがとても楽しかったです。

緑が多くて過ごしやすいまちをイメージしながらつくりました。またやりたいです。

【テーマ】 明るく楽しいまち（小4）

テーマの理由：沖縄県で1番有名なまちにしたいから。

明るく楽しかったらみんなが宜野湾市に来たいと思うから。

【作成したまち】



【感想】

まちづくりとSDGsは関連していることがわかりました。

普天間飛行場がなくなるとたくさんの建物ができて、どんなまちになるのか気になりました。僕が考えたまちになったら行ってみたいです。

③志真志小学校（6学年 全4クラス）

【実施概要】

普天間飛行場が返還されたあとの「新しいまち」について考えることを目的としたワークショップを1クラスあたり8グループに分かれ実施した。

学校側の協力を得て、出前講座当日までに普天間飛行場跡地利用計画のプロモーションビデオの鑑賞と児童のグループ分けをし、まちのテーマを決定した。

出前講座当日はグループに分かれ、普天間飛行場跡地にできるまちに必要なと思うイラストを白図（A2用紙）に貼って「みらいのまち」を作成し、最後にグループ発表を行った。

1・2組は1・2校時（8時35分～10時15分）、3・4組は3・4校時（10時25分～12時05分）にワークショップを実施した。アンケートは出前講座終了後に記入し、後日回収、集計した。

日 時	令和7年1月17日（金）8：35～12：05 1・2校時（1・2組）、3・4校時（3・4組）授業参観日
児 童 数	111名（4クラス）

③-1. プログラム 1・2校時（1・2組）、3・4校時（3・4組）

※（）内は3・4組の時間

時 間	内 容
8：35 (10：25)	まちづくりワークショップ開始
8：45 (10：35)	みらいの宜野湾市の作成 ① 道路を書こう ② 鉄軌道のラインを書いて、駅を貼ろう ③ 地図にイラストを貼ろう ④ まちの工夫したところを付箋に書いて貼ろう
9：50 (11：40)	グループ発表
10：10 (12：00)	感想発表（代表者数名）
10：15 (12：05)	まちづくりワークショップ終了

③-2.作業の様子



【発表の様子（一部抜粋）】

まちのテーマ	工夫したところ
【宜野湾市に役立つまち】 	◆ 児童が従業に集中できるように、学校の周辺にはうるさい施設は作りません。 ◆ 観光、文化、学びのエリアをつくりました。 ◆ 沖縄の自然を知ってほしいので、沖縄エリアにはみどりを多くしました。 ◆ どこからでも行きやすくなるように、まちの真ん中には市役所があります。
【自然豊かで楽しいまち】 	◆ 自然豊かに感じられるように、まち全体にみどりがあります。 ◆ 暮らしやすくなるように、住宅街の近くには生活に便利なスーパーや保育園があります。 ◆ 沖縄の伝統を引き継ぐため、沖縄のエリアをつくりました。 ◆ 観光客も行きやすくなるように、駅の近くに沖縄の文化がわかる観光地をつくりました。

【作成したまち（一部抜粋）】



【感想（一部抜粋）】

- 今日のワークショップ学習をとおして、普天間飛行場跡地利用計画について知ることができました。今日、まちづくりについて考えたことで、「私たちがつくるまち」について少し分かった気がしました。私が住んでいる宜野湾市のまちづくりには、たくさんの人達が関わっていて、まちには多くの工夫があることを知りました。私は、普天間飛行場が返還されたあとにできるまちが、どんなまちになるのか将来がとても楽しみにになりました。
- 私はこの講座をとおして、普天間飛行場返還後のまちづくりについて考えることができました。普天間飛行場がなくなったら、自然を感じられ、遊べる場所が多いまちにしたいと思いました。僕はあらためて、普天間飛行場がどういうものなのか、どのような経緯でできたのか、しっかり学んでいきたいと思いました。
- 今日の学習をとおして、将来私たちが大人になった時には、普天間飛行場が返還されているかもしれないと聞いて、普天間飛行場跡地にできるまちに興味を持ちました。この授業がなかったら何も知らうとしなかったので、普段からテレビを見て沖縄のことだけではなく、他県や国の状況についてちゃんと知らうと思いました。
- よりよいまちをつくるために、「この施設の近くにこの建物を建てたい」、「駅や大通りの近くには人が集まるショッピングモールや会社をつくらう」と考えました。普天間飛行場が返還される時が来たら、今回の講座のように「ああしたい、こうしたい」とたくさんの意見を出したいと思いました。
- 「どこに何があればこんなメリットがある」とたくさんの意見を出し合うことが、よりよいまちづくりに繋がると思いました。他の人と意見を比べたりする力がついたし、「私たちが求めるまちはどんなまちだろう」と、たくさん考えることができました。どうすればいろんな人が助かるまちになるのか、これからも考えていきたいと思います。
- グループで意見を出し合いながらまちができたので楽しかったです。他のグループの工夫も知れたし、とてもよい体験だと思いました。お母さんが「高齢者が増えているから、高齢者が住みやすいまちもいいね」と言っていて、私も確かにそのとおりだなと思いました。
- 普天間飛行場が返還されることは知っていたけど、これまでどんなまちになるのか考えたことがなかったので、考える機会があってとても良かったです。返還された後にできるまちは、便利で災害にも強いまちにしたいと思いました。
- 最初は普天間飛行場がなくなると聞いて不安に思ったけれど、まちがつけられることを知りました。普天間飛行場がなくなったあとにできるまちづくりについて、夜家族にも話しました。授業をしてくれてありがとうございました。

④大山小学校（４学年 全３クラス）

【実施概要】

普天間飛行場が返還されたあとの「新しいまち」について考えることを目的としたワークショップを１クラスあたり８グループに分かれ実施した。

普天間飛行場跡地利用計画のプロモーションビデオを鑑賞後に、プロモーションビデオから３問出題してクイズを行った。その後、グループで普天間飛行場跡地にできるまちのテーマを決定し、普天間飛行場跡地にできるまちに必要なイラストを白図（Ａ３用紙）に貼ってまちを作成し、最後に発表を行った。

アンケートは出前講座終了後に記入し、後日回収、集計した。

日 時	令和７年２月６日（木）１３：１０～１４：５０ ５・６校時（１～３組）総合学習
児 童 数	９０名（３クラス）

④-１.プログラム

時 間	内 容
１３：１０	まちづくりワークショップ開始
１３：１０	プロモーションビデオ鑑賞（普天間飛行場跡地利用計画）
１３：２０	クイズ！普天間飛行場跡地利用計画 （プロモーションビデオから問題を出題）
１３：３０	みらいの宜野湾市の作成 ①まちのテーマを考えよう ②地図にイラストを貼ろう ③まちの工夫したところを付箋に書いて貼ろう
１４：２０	グループ発表
１４：４５	感想発表（代表者数名）
１４：５０	まちづくりワークショップ終了

④-2.作業の様子



【発表の様子（一部抜粋）】

まちのテーマ	工夫したところ
【災害でも安心できるまち】 	◆ まちの安全のために、学校の近くに消防署があります。 ◆ キャンプができる公園があると、多くの人が楽しめます。 ◆ 自然や宜野湾らしい文化があると、まちは人気になって人が集まります。
【過ごしやすい楽しいまち】 	◆ 自然観察ができる公園が学校の近くにあると授業で利用することができます。 ◆ 大きい公園があると、遠足や避難場所にも使うことができます。 ◆ たくさんの人が通いやすいように、学校の近くに駅があります。

【作成したまち（一部抜粋）】



【感想（一部抜粋）】

- 今日の授業では「便利に生活できる」をテーマに、普天間飛行場が返還された後のまちづくりをしました。10年後20年後に普天間飛行場が返還されたら、こんなまちになるのかなと、ワクワクした気持ちになりました。
- 普天間飛行場跡地利用計画はすごいと思いました。普天間飛行場跡地利用計画できっと完璧なまちができると思います。僕も未来を楽しみにしています。
- 普天間飛行場がなくなったら、未来にはこんなまちができるのかなと思いました。僕は、便利に生活ができて、明るくいつでも安心できるまちがいいと思いました。この授業で、宜野湾市の未来が楽しみになりました。
- まちづくりは難しかったけれど、考えているうちにだんだんわかってきました。普天間飛行場が返還されたら、安心できるまちをつくって欲しいです。皆で考えたら、よいまちができることがわかりました。
- 普天間飛行場が返還されると聞いて、私は驚きました。みんなの意見をまとめて、よいまちをつくって欲しいと思います。今日はこの授業を受けることができて良かったです。
- まちづくりを考えることは少し大変だったけど、みんなの「笑顔」をつくるためには、思いやりや優しさも大切だと思います。みんなが「過ごしやすいまち」をつくることも思いやりにつながると思います。
- 普天間飛行場が返還されることを初めて知りました。普天間飛行場が返還されたら、「楽しい、自然豊かなまち」になって欲しいです。みんなとまちづくりをしながら、私たちが考えたまちになるといいなと思いました。楽しかったのでまたやりたいです。
- 説明を聞いて未来のまちの想像が広がりました。「返還されたらどんなまちになるかな」と考えることが楽しかったです。
- 普天間飛行場跡地利用計画を聞いて、「私たちが想像したまちが実現して、宜野湾市にもっといろんな人が集まるといいな」と思いました。
- 普天間飛行場が返還されると初めて知りました。グループでまちづくりをするのは難しかったけれど、楽しかったです。
- 自分たちでまちをつくるのは難しかったけれど、ワークショップは楽しかったです。今日の授業を受けて、未来のまちについて考えることが楽しくなりました。ありがとうございました。
- グループ発表に緊張しました。普天間飛行場跡地利用計画のPV動画で説明を聞いて、普天間飛行場についてよく分かりました。

5) アンケート結果（児童センター2か所・小学校2校）

【性別】

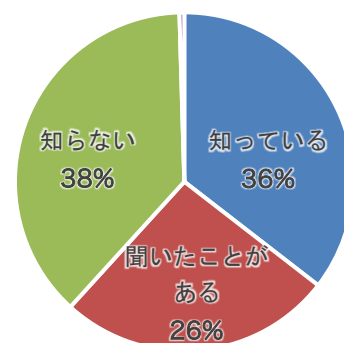
選択肢	人数（名）	割合（％）
男子	117	54%
女子	100	46%
計	217	100%

【児童センター、小学校別】

選択肢	人数（名）	割合（％）
新城児童センター	4	2%
大山児童センター	12	6%
志真志小学校	111	51%
大山小学校	90	41%
計	217	100%

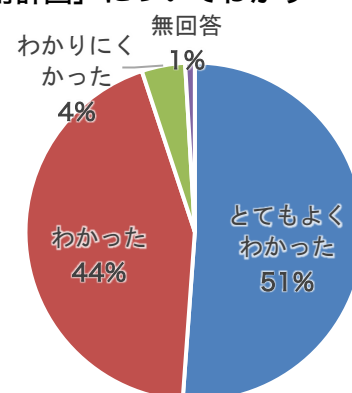
問1. あなたは「普天間飛行場跡地利用計画」を知っていますか。

選択肢	人数（名）	割合（％）
知っている	77	36%
聞いたことがある	57	26%
知らない	82	38%
無回答	1	0%
計	217	100%

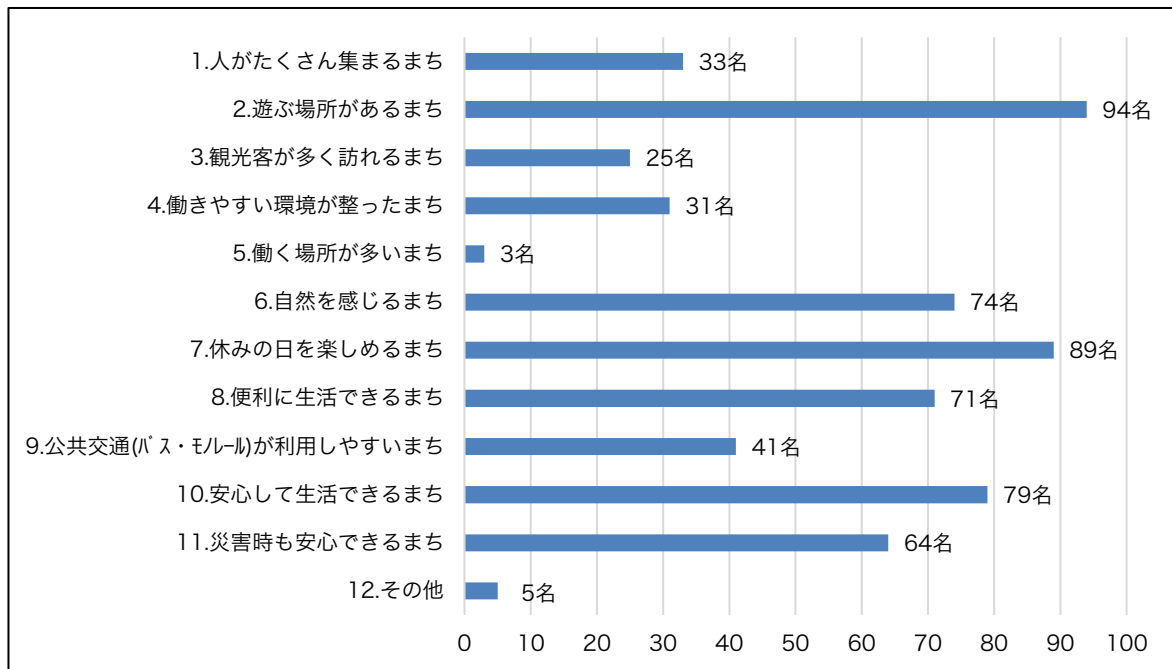


問2. プロモーションビデオを見て、「普天間飛行場跡地利用計画」についてわかりましたか。

選択肢	人数（名）	割合（％）
とてもよくわかった	111	51%
わかった	95	44%
わかりにくかった	9	4%
無回答	2	1%
計	217	100%



問3. 普天間飛行場が返還されたあとにできるまちはどんなまちがいいですか。
(複数回答可)



【総括】

問1.「普天間飛行場跡地利用計画を知っていますか」について、「知らない」と回答した児童が全体の38%を占めていたが、児童に向けて制作した普天間飛行場跡地利用計画のPV動画を視聴することにより、「とてもよくわかった」「わかった」と回答した児童は95%となった。このことから、PV動画を活用することで多くの児童に対し、普天間飛行場跡地利用計画について理解を深めることができたと考えられる。

問3.「普天間飛行場が返還されたあとにできるまちはどんなまちがいいですか？」の回答については、「2. 遊ぶ場所があるまち」が94名と最も多く、次いで「7. 休みの日を楽しめるまち」が89名となっている。他には「自然を感じるまち」「便利に生活できるまち」「安心して生活できるまち」の項目が上位を占めている。

このことから、児童は普天間飛行場跡地にできるまちづくりに対して「遊び」や休日を充実して過ごせることを求めているとあり、次いで「自然」「便利」「安心」といった生活環境について関心が高いことが分かった。

6) 取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

●普天間飛行場跡地に関する興味・関心を高める取組みの効果発現

- ・児童・生徒へ向けて制作したプロモーションビデオを活用することで、普天間飛行場跡地利用に関する興味・関心を高めることができた。
- ・小学校6年生と、4年生の児童に対し出前講座を開催し、学年別に講座の内容を変更することで、適切な難易度で楽しみながら普天間飛行場跡地のまちづくりについて考えることができた。
- ・児童センターと小学校の授業参観日に開催することで、保護者も児童と一緒に講座に参加することができ、普天間飛行場跡地のまちづくりについて一緒に考えてもらうきっかけづくりができた。また、参加した保護者からも「楽しかった」との声が寄せられ、市民に対しても普天間飛行場跡地利用計画に関する興味・関心を促すことができた。

【今後の課題】

●周知拡大の対象に向けた取組みの実施

- ・過年度に実施した小学校に対し、次年度以降も積極的に出前講座の案内を行うとともに、これまで出前講座を実施していない小学校に対しては、早い段階から出前講座の案内を行う。

(3) 出前講座低学年用教材PV制作

1) 目的

普天間飛行場跡地利用について、これまでの取組み内容を紹介し、児童に返還後のまちづくりについて考える機会を促すことを目的とした、小学校低学年用プロモーションビデオ(PV)を制作した。

2) プロモーションビデオの内容

タイトル	みらいの宜野湾市を考えよう～普天間飛行場跡地利用計画～
再生時間	10分26秒
絵コンテ	次頁参照

3) 取組み成果と今後の課題

【取組み成果】

●PVを活用した普天間飛行場跡地利用計画に関する興味・関心の向上

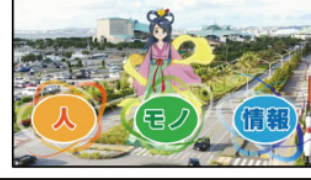
- ・小学校高学年・中学生に向けて制作した普天間飛行場跡地利用計画のプロモーションビデオを低学年の児童にも分かりやすい内容にリメイクし、出前講座等で活用することで、多くの児童に対して普天間飛行場跡地利用計画に関する興味・関心を高めることができた。

【今後の課題】

●PVの定期的な見直しと更新について

- ・普天間飛行場跡地利用計画の策定に向けて、計画内容の変更や時流と合うように、適切な時期にPVの内容更新を行う。

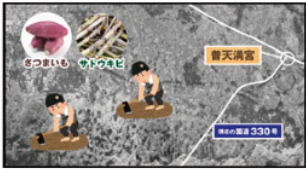
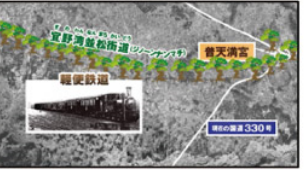
①絵コンテ

CUT	TIME	映像	ナレーション
1	12秒 /12秒		はいたいぐすーよ～ ちゅうがなびら！ 私はふてんによ みんなよろしくね！
2	8秒 /20秒		今日は私と一緒に宜野湾市の将来、魅力あるまちづくりについて一緒に考えていきましょう。
3	6秒 /26秒		みらいの宜野湾市を考えよう ～普天間飛行場跡地利用計画～
4	7秒 /33秒		宜野湾市は「ねたての都市（まち）ぎのわん」と呼ばれていることを知っていますか。
5	6秒 /40秒		「ねたて」とは、 古謡「おもしろそうし」に表された 言葉で、古琉球の時代から
6	9秒 /49秒		「物事の根元」または「共同体の中心」、「まつりごとの中心地」を意味しています。
7	12秒 /1分1秒		コンベンションセンターを中核として、人・物・情報が行き交う宜野湾市は、沖縄県の重要な役割を担うまちとして発展しており、
8	5秒 /1分6秒		まさに現代の「ねたて」であるといえます。

コンテ：1/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
9	7秒 /1分13秒		「宜野湾市の人口は10万人を越え、面積は1,980 (ha) 、
10	6秒 /1分19秒		普天間飛行場が市の面積の およそ3分の1を占めています。
11	7秒 /1分26秒		市内には商業施設や教育施設、また、 トロピカルビーチや
12	6秒 /1分32秒		はごろも伝説の舞台として有名な湧き 水のムヌカー（森の川）や、
13	7秒 /1分39秒		普天満宮の境内にある普天満宮洞穴 など文化財も数多く残されています。
14	6秒 /1分45秒		そして・・・宜野湾市の中心部には普 天間飛行場があります。
15	6秒 /1分51秒		この普天間飛行場は、昔からあったわ けではありません。
16	9秒 /2分20秒		では、普天間飛行場ができる前の宜野 湾市は、いったいどんなところだった のか？ちょっと時間をさかのぼって見 てみましょう。

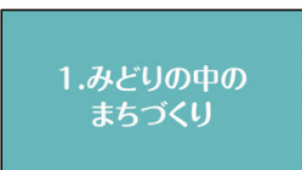
コンテ：2/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
17	11秒 /2分12秒		戦前の宜野湾市は、のどかな集落がありさとうきびや、さつまいも等の栽培が行われていた、農業が盛んな地域で、
18	8秒 /2分20秒		中心部には宜野湾村役場や、宜野湾国民学校、並松(なんまち)街道がありました。
19	12秒 /2分32秒		また西側には、県道や軽便鉄道がそれぞれ南北に走っており、宜野湾村は交通や行政の重要な場所でした。
20	11秒 /2分43秒		なかでも並松(なんまち)街道の松並木は、人々からは「ジノーンナンマチ」の名で親しまれた国の天然記念物でしたが、
21	7秒 /2分50秒		2000本以上あった美しい松並木は、戦争で失われてしまいました。
22	5秒 /2分25秒		普天間飛行場がなぜできたのか知っていますか？
23	7秒 /3分2秒		普天間飛行場は1945年の沖縄戦の最中に建設されましたが、
24	6秒 /3分8秒		戦後住民は土地を奪われ、基地の外へ追い出されてしまいました。

コンテ：3/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
25	3秒 /3分11秒	 当時の普天間飛行場は、住民が自由に行き来することが出来ましたが、	当時の普天間飛行場は、
26	3秒 /3分14秒	 現在の飛行場の様子 当時の普天間飛行場は、住民が自由に行き来することが出来ましたが、	住民が自由に行き来することが出来ましたが、
27	7秒 /3分21秒	 1962年頃に現在のようにフェンスで囲まれてしまいました。	1962年頃に現在のようにフェンスで囲まれてしまいました。
28	12秒 /3分33秒	 1978年に北谷町のハンビー飛行場が返還されて、ハンビー飛行場の機能が移り現在の普天間飛行場になりました。	その後、1978年に北谷町のハンビー飛行場が返還されて、ハンビー飛行場の機能が移り現在の普天間飛行場になりました。
29	9秒 /3分42秒	 普天間飛行場があることで発生する 不便なこと 危険なことには どんなものがあるのでしょうか？	では、普天間飛行場があることで発生する不便なこと・危険なことにはどんなものがあるのでしょうか？
30	10秒 /3分52秒	 ①回り道の必要がある 普天間飛行場 △よけて通らないといけない	普天間飛行場は市の中央部にあるため、地域が分かれて道路を回り道する必要があります。
31	18秒 /4分10秒	 ②落下物の危険 ③ヘリコプターの騒音被害	また、住宅地の上空を米軍機が飛んでいることで、落下物等の危険や、騒音被害も問題になっています。早く普天間飛行場が返還されて、跡地のまちづくりを行うことは、市の重要な課題となっています。
32	5秒 /4分15秒	 返還が予定されている普天間飛行場ですが、	返還が予定されている普天間飛行場ですが、

コンテ：4/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
33	10秒 /4分21秒		普天間飛行場が返還されたらどんなまちになってほしいと思いますか？
34	12秒 /4分33秒		跡地のまちづくりについて、沖縄県と宜野湾市では話し合いを行っています。これからその内容を少し紹介します。
35	4秒 /4分37秒		1つ目は「みどりの中のまちづくり」です。
36	7秒 /4分44秒		普天間飛行場の中にはみどりも多く、地下には豊富な地下水が流れています。
37	14秒 /4分58秒		その水と地形、緑、それに普天間飛行場の中に残る遺跡や洞穴などの歴史を加えた4つの要素をつなぎあわせた、
38	5秒 /5分3秒		みどりの中のまちづくりを目指しています。
39	9秒 /5分12秒		また、普天間飛行場の中には、数多くの歴史・文化資源が残されていることがこれまでの調査でわかっています。
40	10秒 /5分22秒		南東側の緑地にある文化財やカーなどの資源は、公園の中に組み込まれ、守るだけではなく

コンテ：5/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
41	12秒 /5分35秒		憩いの場として使い、戦前から残っている緑を守りながら、並松（なんまち）街道の復元や、緑や文化の豊かなまちの実現を目指しています。
42	5秒 /5分40秒		2つ目は「土地の利用計画について」です。
43	10秒 /5分50秒		普天間飛行場跡地の可能性を踏まえて、「新たな沖縄の中心となるにぎわいの場」の実現に向けて検討しています。
44	4秒 /5分54秒		【振興拠点ゾーンは、地域を盛り上げる区域です】
45	7秒 /6分01秒		地域を盛り上げる区域では、3つの重要な場をイメージしています。
46	11秒 /6分12秒		「学び・研究ができる場」「世界中の人とつながり仕事ができる場」「安心・安全に生活ができる場」です。
47	8秒 /6分20秒		「学び・研究ができる場」では、西普天間住宅地区の琉球大学医学部と協力して、
48	5秒 /6分25秒		専門の人材を育てる、命と科学の研究を中心とした、

コンテ：6/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
49	6秒 /6分31秒		緑がいっぱいある学べる場をつくりアイデアが生まれるまちを目指しています。
50	9秒 /6分40秒		また、「世界中の人とつながり仕事ができる場」では、海外と取引をおこなう国際貿易や、
51	6秒 /6分46秒		観光、医療などの産業が集まり、会社やホテル、ショッピングセンターや
52	6秒 /6分52秒		みんなで楽しむテーマパークなどの、集客施設や交流施設がある場を目指しています
53	10秒 /7分02秒		そして「安心・安全に生活ができる場」では、災害の危険性が比較的に少ない高台にある場所を活かし、
54	8秒 /7分10秒		防災公園とも連携した「安心・安全に生活ができる場」を目指しています。
55	7秒 /7分17秒		【沖縄振興コアは、新たな沖縄の価値を創り出す宜野湾市の中心です】
56	11秒 /7分28秒		公園や緑地とまちが一体となった大規模公園エリアの中心部分を「新たな沖縄の価値を創り出す宜野湾市の中心」とし、

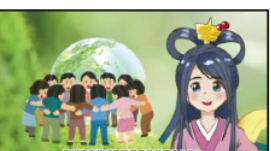
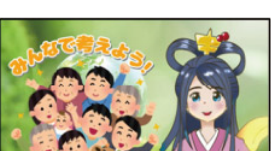
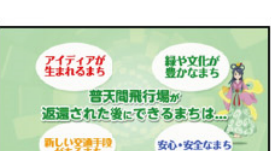
コンテ：7/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
57	10秒 /7分38秒		地域を盛り上げる区域とつながり、人々との交流や活動、情報を発信する場としてイメージしています。
58	5秒 /7分43秒		【都市拠点ゾーンは、地域の中心になる区域です】
59	6秒 /7分49秒		多くの人が楽しめる市民広場や、会社やお店、公共施設がある
60	8秒 /7分57秒		宜野湾市の中心となる魅力的でにぎわいがある場をイメージしています。
61	3秒 /8分00秒		【居住ゾーンは、みんなが暮らす区域です】
62	4秒 /8分04秒		ゆとりがある住宅地には
63	2秒 /8分06秒		たくさんのみどりがあり、「並松街道」を
64	7秒 /8分13秒		市民の新たなコミュニティの場とした、住みやすく魅力的なまちをイメージしています。

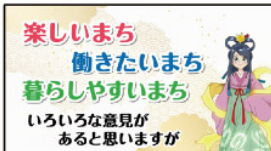
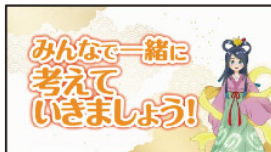
コンテ：8/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
65	7秒 /8分20秒		災害に強く、快適に暮らせる安心・安全なまちを実現します。
66	3秒 /8分23秒		3つ目は「道路や交通の整備」です。
67	6秒 /8分29秒		南北をつなぐ中部縦貫道路や宜野湾横断道路、
68	6秒 /8分35秒		鉄軌道を含む新たな公共交通の導入などが検討されています。
69	5秒 /8分40秒		4つ目は「周辺の市街地との連携について」です。
70	4秒 /8分44秒		普天間飛行場跡地と周辺の土地の間に
71	2秒 /8分46秒		大きな公園があれば、
72	4秒 /8分50秒		防災公園やイベントにも使うことができ、

コンテ：9/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
73	3秒 /8分53秒		たくさんの人々と交流がうまれます。
74	5秒 /8分58秒		普天間飛行場が返還され、新しい道路やまちができるということは、
75	2秒 /9分00秒		基地跡地だけでなく、
76	4秒 /9分4秒		周辺市街地にも影響を及ぼすことから、
77	2秒 /9分6秒		周辺に住んでいる地域の人々も
78	4秒 /9分10秒		一緒にまちづくりを考えていく必要があります。
79	6秒 /9分16秒		このように普天間飛行場が返還されたあとにできるまちは
80	10秒 /9分26秒		○気持ちいい環境で働くことができ、研究した結果を世界に発信し、人材を育てる「アイディアが生まれるまち」

コンテ：10/11

CUT	TIME	映像	ナレーション
81	8秒 /9分34秒		○自然や地域の文化を感じる「緑や文化が豊かなまち」
82	7秒 /9分41秒		○便利に生活ができ環境にやさしい「新しい交通手段があるまち」
83	11秒 /9分52秒		○災害時も安心して生活ができ、誰でも気持ちよく過ごせる「安心・安全なまち」を目指しています。
84	7秒 /9分59秒		みんなは普天間飛行場が返還されたら、どんなまちになってほしいですか？
85	9秒 /10分8秒		楽しいまち・働きたいまち・暮らしやすいまち・・・いろいろな意見があると思いますが
86	9秒 /10分16秒		たったひとつ確かなことは魅力ある宜野湾市をつくるのは皆さん1人1人です。
87	6秒 /10分22秒		さあ、これから未来の宜野湾市！普天間飛行場跡地のまちづくりについて
88	4秒 /10分26秒		みんなで一緒に考えていきましょう！

コンテ：11/11

②成果品

パッケージ



DVD盤面

